



いすじろう通信

2022年度

「JVR養成講座開講式」号

ようこそ、栗東自然観察の森へ

令和4年度 JVR養成講座 開講式の様子を紹介します。



令和4年度【第28期】JVR養成講座 受講生集合写真
2022年6月11日(土曜日)



観察の森、赤井所長から開式のご挨拶です(抜粋)。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、日常生活に様々な制限がかかる中、定員一杯の講座生を無事に開講式に迎えることができ感謝しております。はじめて受講される皆さんへ、この森で講座を通じて自然のすばらしさと大切さを実感してください。先輩講座生やサポーターの方が優しく支えてくれますよと、あたたかい言葉をいただきました。また、講座生が森の自然と接して多くのことが学びとれますよう、サポーターの皆さま方のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

続いて、昇段認定表彰をさせていただきます。

講座生が、森での活動に積極的に参加され、20ポイントを獲得されました。ここに、講座生からJVRへの認定表彰させていただきます。おめでとうございます♡

観察の森の職員紹介の後、続いてサポーターズ代表の阿部様より、ご挨拶いただきました(抜粋)。

「ここに一緒にさせていただいたサポーターズは、受講生皆さまの応援団ですよ！」と力強いお言葉です。続いて、出席いただいたサポーターの皆さんから個性が輝く自己紹介をいただきました。♡



受講生の宣誓です!

「私たちは、栗東自然観察の森で自然について深く学び、仲間と協力し、楽しく活動することを誓います。」

令和4年6月11日

講座生の皆さま、お疲れさまでした。第一回講座に入る前に、ウォミングアップのアイスブレイキングを行います。班対抗の簡単なゲームを楽しんでください!

①聞いて並べるゲーム ②つなげ、連鎖する輪ゲーム ③危険予知ゲーム

では、JVR杯目指して、健闘を願います♡

観察の森、松田副所長から閉式のご挨拶です(抜粋)。

新しい仲間との輪を広げ、サポーターズや森の職員との交流を深め、一年の活動を通じていっそう成長した姿を見せていただけることを楽しみにしています。

活動の指針とテーマ(抜粋)

この講座は、森の自然を学習教材に自然と人との関わりを深め自然環境の保全意識の高揚につなげるとともに、環境リーダーの養成を目的として、本年度は「森の大切さを知る」をテーマに活動していきます。



JVR杯

★①聞いて並べるゲーム：お題は、講座生のファーストネームを聞き出し、あいうえお順で並べろ!です。ポイントは、並べる法則を口に出してはダメです。選ばれた隊長の腕の見せ所♡



★②つなげ連鎖する輪ゲーム：直径1.8mの竹製の輪を、人差し指一本で、障害物に触れずに移動させるタイムレースです！班内で、2グループをつくり、リレーして違う障害物をクリアして、大きな竹の輪を丁寧にゴールまで運んでください♡

★③危険予知ゲーム：〈野外活動を安全に行うために〉事故を未然に防ぐための一番の準備は「**危険を知る**」ことです。【目標：参加者自身が活動中の危険性に認識を持ち自ら準備できる】

ゲームは、危険を**リスク**と**ハザード**に分けてみましょう！

リスクとは：なにか挑戦しようとしたとき起こる危険です。

ハザードとは：本当はそこにあるのに、目に見えていない・見ていない危険です。

お題は、「昨夜、雨が降ったカエル池からイトトンボの湿地へむかう木道の散策」に潜む危険です。

いよいよ、第一回講座のはじまりです！
ここから班にわかれて活動を進めます。サポーターズの皆さまよろしく願いいたします♡

★**仲間との出会い** 自己紹介をしました。サポーターズのみなさんのお話しもおもしろいですね♡

1班

2班

3班

★**森を歩こう** 梅雨の森を散策しました♡

★**森を知る** 森のしくみについて学ぼう！

★今回は、地球上の真水の量についても考えていただきました。地球上の水は、97%が海(海水)で、残る3%が真水になります。

「**森林の持つ役割**」を4つのキーワードで紹介すると、①森林は緑のダム ②森林は生きものの家 ③森林からの恵み ④森林は地球を救う になります。

これから紹介するお話は、森林の持つ役割の内、「**森林は緑のダム**」と「**森林は地球をすくう**」について考えます。これから行う実験は、保水実験といいます。実験装置に、森林のある山と森林のない山をつくって、そこに大雨を降らせます。装置につけたノズルから流れ出る、川のはじまりの水の様子を比較します。流れ出る水の色、水の量、水のスピードについて推測してください。果たして、結果はどうなるでしょうか？

★川のはじまりから流れ出る水の様子を観察します。



★実験をはじめる前に、各班の講座生から、どうした理由で、どのような水が出るのか発表していただきました。









★今回、同じ「森林のある」山をあらわしている2枚のパネルをご覧くださいました。一方は、清流が流れ緑にあふれた明るい森で、もう一方は、森の中が薄暗く、地面に太陽の光がとどいていない森です。

どうも、薄暗い森の木は、とても細い木でいっぱいです。こうした森は、木がたくさん生えていますが、大雨が降ると土砂崩れをおこします。どうしてかな?すこし考えてみてください💡






★次回の予告

からくりカイツブリと木の勾玉だよ🍵

ふりかえりの時間・・・

ふりかえりシートに、今日の活動について考えたことを記入してください。◎森を歩いて感じたこと◎森のしくみを知る実験でわかったこと◎楽しく安全に活動するためになにに気をつけますか?

森は、私たち命あるものが暮らしていくうえでなくてはならない存在です。人工衛星から見た日本は、森におおわれ真水の資源にも恵まれています。でも地球全体でみたらどうでしょうか?是非、森の本当の姿を知って、いっぱい森の秘密を見つけてください。

それでは、次回の養成講座でお待ちしています。ありがとうございました♡

